

土木学会水工学委員会

平成 28 年熊本地震河川災害調査団報告会

～地震と豪雨の複合災害について考える～

土木学会水工学委員会では、平成 28 年熊本地震が白川および緑川水系の安全度に与える影響を明らかにするために調査団を編成し、地震によって発生した堤防の破壊や斜面崩壊による土砂の河川への流入など、大規模な水害・土砂災害を発生させる可能性のある現象を中心に調査すると共に、直下型地震による河川災害や土砂災害の対策に向けての提言を行いました。調査団の報告会を下記のとおり開催しますので、ご参加お願い申し上げます。

日時：平成 29 年 5 月 18 日（木）14：00～17：30

【開場：13：30】

会場：熊本大学工学部百周年記念館

（熊本市中央区黒髪 2-39-1）

主催：土木学会水工学委員会，熊本大学工学部

後援：国土交通省九州地方整備局，熊本県，熊本市

※参加無料。事前申込み不要。会場へ直接お越し下さい。会場定員が 250 名程度のため、超過の場合はお断りすることもあります。

【プログラム】

14：00 開会

調査団長挨拶 熊本大学教授 大本照憲

主催者挨拶 熊本大学工学部副学部長 尾原祐三

国土交通省九州地方整備局 佐藤克英河川部長 挨拶

14：15 九州地方整備局からの話題提供

（国土交通省九州地方整備局河川部長 佐藤克英）

14：30 熊本県からの話題提供

（熊本県土木部河川課課長補佐 乙丸正彦）

14：45 調査団報告

・地震による河川災害全体について（熊本大学教授 大本照憲）

・地震による河川堤防被害について

（九州大学准教授 石蔵良平，東京理科大学教授 二瓶泰雄）

・地震による土砂流出について

（京都大学防災研究所准教授 竹林洋史）

・白川河口干潟の土砂堆積について

（熊本県立大学講師 小森田智大）

・白川への流木流出について

（九州大学教授 矢野真一郎）

・水力発電施設被災について

（名古屋大学減災連携研究センター特任教授 田代喬）

16：00 質疑

16：30 パネルディスカッション

～地震と豪雨の複合災害を最小化するために必要なこと～

・コーディネーター 熊本大学教授 大本照憲（調査団長）

・パネラー

九州大学教授

矢野真一郎

東京理科大学教授

二瓶泰雄

京都大学防災研究所准教授

竹林洋史

国土交通省九州地方整備局河川部長

佐藤克英

熊本県土木部河川課長

丸尾 昭

NPO 法人全国水環境交流会

岡 祐二

17：30 閉会

連絡先：熊本大学工学部社会環境工学科 大本照憲：096-342-3543

